

第223回 番組審議会

1. 日 時 平成25年6月11日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名
出席委員数 9名(欠席委員数 2名)

○出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)
竹中 陽一(副委員長)
—以下50音順—

木戸場美代子

斎藤 純

斎藤 雅博

菅原 正二

原 圭介

八木橋 伸之

吉田 浩次

○会社側出席者(6名)

佐藤 滋樹(代表取締役社長)

小原 忍(専務取締役)

藤澤 利憲(常務取締役)

前田 秀男(取締役編成技術局長)

菊池 十郎(岩手めんこいテレビ報道部専任部長)

伊藤 健太(岩手めんこいテレビ報道部)

○事務局 佐々木 久仁子

4、議 題 『FNSドキュメンタリー大賞 まっすぐ～大谷翔平 18歳の決断～』

平成25年4月28日(日) 13:00～13:55放送

5、議 事 概 要

今回は、4月28日(日)の午後1時から放送された「FNSドキュメンタリー大賞 まっすぐ～大谷翔平18歳の決断～」を審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ 菊地プロデューサーからの説明

- ・高校生で時速160キロの球を投げた花巻東高校野球部の大谷翔平。もう二度と出会えないかもしれない超大物高校生をどのような形で取材し、番組化するか検討しドキュメンタリー番組として制作することにした。
- ・周りからチャホヤされても自分をきちんと持ち歩んでいる大谷君の人となりと同級生、両親、野球関係者の証言を元に表現した。

●岩手めんこいテレビ 伊藤ディレクターの証言

- ・久しぶりに夢のある野球選手が出てきたと感じた。今回は、高校生がどのようにして160キロの球が投げられたのかという点と、メジャーリーグに行く決めていたがドラフトで日本ハムに指名され、入団を決意するまでの心の葛藤の2つを柱にして番組を制作した。

● 出席した委員からの意見

- ・ 地元のテレビ局ならではの映像や彼の周辺の人々の証言を集めた貴重な番組だった。
- ・ ドキュメンタリーは素材が全て。凄い素材を見つけて紹介してもらい楽しめたし希望ももらった。
- ・ 大谷君の魅力を知り、彼の成長に期待する気持ちが高まった。岩手県民の夢でもあり今後も継続して番組を制作してほしいと感じた。

- ・ 大谷君が、なぜ160キロの球を投げることができたのか、トレーナーの説明や科学的な分析も交えて説明がほしかった。
- ・ メジャーリーグに行くにしても国内に残るにしても、どちらにも応援団がいたはず。両方の支持者の話も紹介してもらえると大谷君の葛藤を読み取れたのではないか。
- ・ 項目を整理し、時系列でまとめるなど編集で工夫をしてもらえると分かりやすかった。
- ・ 野球以外でも人間的にも稀にみる素晴らしい人材。どのようにしたらあのような子が育つのか幼児期も含めた過程も知りたかった。

※この後、今月で退任する斎藤雅博委員と藤澤利憲常務が退任の挨拶をした。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成25年6月12日（水） 産経新聞 東北版

※平成25年6月22日（土）午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番審
りポート」内で放送

据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし